

令和5年度事業報告書
令和5年9月1日から令和6年8月31日まで

特定非営利活動法人エス・エス・エス

1. 事業の成果

【生活困窮者のための入居施設の開設・運営管理および対象者の生活の安定や自立をサポートする種々の支援事業およびこれらを行う団体・組織・企業等を支援する事業】

＜児童自立援助ホームの運営について＞

児童福祉法に基づく自立援助ホームを埼玉県内および神奈川県内にて運営しています。自立援助ホームは、義務教育を終了後の15歳から20歳までを対象とし、両親の離婚や死別、虐待など様々な事情により、家庭で生活することができない青少年が、主に働きながら生活を共にし、自立を目指すホームとなります。子どもの貧困や若年者への支援が課題とされる中、これまでのノウハウを生かした次世代の自立支援を行っています。

＜行政受託事業について＞

これまでの生活困窮者支援を通じて培った経験・ノウハウを生かし、社会貢献の一環として行政からの受託事業にも積極的に取り組み、より公益的な活動にも注力しています。

- ・浦安市ホームレス総合相談推進事業
- ・市川市ホームレスに関わる巡回指導及び自立支援相談事業
- ・銚子市自立相談支援事業 ※令和6年3月終了

【福祉に関する相談援助事業】

生活困窮者自立支援法にもとづく「ちょうしサポートセンター（生活困窮者自立相談支援事業）」を千葉県銚子市より受託し、関係機関や他の社会資源との横断的なネットワークを広げながら生活困窮者を対象とした相談事業を実施しました。

【その他の活動】

生活困窮者に対する支援活動のみにとどまらず、様々な分野の方々と積極的に交流し、情報公開を行っていくことで、広く社会に貢献できる法人を目指しています。

＜所属組織＞

- ・NPO法人 ホームレス支援全国ネットワーク
- ・一般社団法人 生活困窮者自立支援全国ネットワーク
- ・一般社団法人 全国日常生活支援住居施設協議会
- ・一般社団法人 全国住宅産業協会
- ・全国自立援助ホーム協議会
- ・日本居住福祉学会
- ・社会的企業研究会

【SDGs スマイルプロジェクト】

国連にて地球上の社会的な課題を解決するために「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択され、全世界で様々な取り組みが進んでいます。「わたしたちに出来ることはないだろうか・・・？」その思いから、2009年（平成21年）に始まったスマイルプロジェクトでは、NGO団体等との連携を通じ、様々なプロジェクトを国内外で実施してきました。

◇プロジェクト1. ホームレス状態の方々への支援

- ・年間約2.5万食の炊出（平成12年～令和2年）
- ・冬じたく無料バザーの実施

◇プロジェクト2. エスエススクール&カレッジ

[飢餓問題への啓発活動]

- ・生きがいづくりを通じて施設利用者が育てたサツマイモを千葉県袖ケ浦市内の保育所の園児に収穫してもらう芋ほりを実施。（平成23年～令和元年）

[貧困問題への啓発活動（見学対応・特別講義等）]

- ・埼玉県立誠和福祉高等学校「貧困を知る」（平成22年）
- ・岐阜県海津市立日新中学校「社会的企業で働くということ」（平成25年）
- ・京都女子大学「生活困窮者支援の最前線」（平成26年）
- ・日本大学「生活困窮者に対するSSSの取り組み」（平成27年）
- ・湘南学園高等学校「貧困問題への取り組み」（平成27年、平成28年）
- ・柏市立田中中学校「キャリア教育講和会」（令和2年）
- ・大阪市立大学「SSSの展開する中間ハウジングについて」（令和2年）
- ・世田谷区立瀬田中学校「福祉の仕事」（令和3年）
- ・湘南学園中学校「貧困問題への取り組み」（令和4年、令和5年）

◇プロジェクト3. 極度の貧困地域への国際支援

[フィリピン共和国]

- ・マスバテ島カランパン村の小学校校舎建設と、栄養失調児童を支援対象とした学校給食提供及び保護者への栄養管理指導を実施。（平成22年）
※旧「国連ミレニアム開発目標（MDGs）目標1：極度の貧困と飢餓の撲滅」に該当。
- ・首都圏を襲った台風による洪水被害を受けた地域の再定住プロジェクト支援を実施。（平成24年）
- ・台風30号ハイエン緊急復興支援として、マスバテ島カランパン村の住民を含む1,000世帯分の飲料キット代を寄付。（平成26年）

[カンボジア王国]

- ・プノンペンにてストリートチルドレンなどを支援する「愛センター」へ教育ボランティアの派遣。（平成26年）およびインターネット設備（Wi-Fi）を支援。（平成26年～30年）
- ・現地の雇用問題を解決するため、「愛センター」および日本企業「鳥源」と共同でソーシャル製麺所「AIヌードル」を設立し、常駐スタッフを派遣中。立ち上げ支援としては、製麺機の購入費用と日本からの輸送費用を寄付。（1台目平成27年・2台目平成30年）

- ・新型コロナウイルス感染拡大ロックダウンへの緊急支援として、食料・薬・マスクなどの物資を支援（令和3年）
- ・こどもの読書活動の普及啓発を目指し、一般社団法人ソーシャルコンパス制作の「ありがとう絵本」（1,000冊）の印刷発行を支援。また、フリースクールや孤児院等への絵本配布イベントを首都圏・ノンペン等にて開催。（令和4年、令和5年）

◇プロジェクト4．ワクチン支援

ワクチンがないことで予防可能な感染症で命を落としている貧困国の児童を支援するために、飲料のペットボトルのキャップを収集しワクチンに変える取組み。

[合計キャップ数]

- ・約619万個（約14.4t）ポリオワクチンに換算して約7,202人分
- ※平成21年11月から令和6年8月までの約15年間で収集した数となります。

◇プロジェクト5．災害復興支援

[東日本大震災]

- ・震災により避難所生活を余儀なくされた方々へ、炊出しをはじめとしたボランティア活動。東京都、神奈川県、茨城県の避難所にて実施。（平成23年）
- ・千葉県内にて避難生活を送る児童の方々へ衣類・学習机・文房具等を提供。（平成23年）
- ・陸前高田市へ復興支援ボランティアを派遣。SSSの職員と利用者様より有志を募り、ガレキ撤去ボランティアとして活動。また、法人内部で震災直後から募金運動を行い、災害義援金を同市へ寄付。（平成24年）
- ・継続的な復興支援として、福島県のサッカーチーム「福島ユナイテッドFC」への公式サポートを実施。（平成25年～令和4年）
- ※小学生親子を対象とした「SSSスマイルプロジェクトサッカースクール in 福島」を開催。

[関東・東北豪雨災害]

- ・茨城県常総市へ復興支援ボランティアを派遣。SSSの職員と利用者様有志が個人宅等への清掃ボランティアとして活動。（平成27年）

[熊本地震]

- ・法人内部で地震直後から募金活動を行い、災害義援金を「公益財団法人 共生地域創造財団」を通じて現地で活動を続ける「よか隊ネット」へ寄付。（平成28年）

[北海道胆振東部地震]

- ・「特定非営利活動法人コミュニティワーク研究実践センター」へ避難所活動費を寄付。（平成30年）

[西日本豪雨災害]

- ・法人内部で募金活動を行い、「日本赤十字社 広島県支部」を通じて災害義援金を寄付。（平成30年）

[令和元年台風15号・19号]

- ・千葉県館山市へ復興支援ボランティアを派遣。SSSの職員が清掃ボランティアとして活動しました。（令和元年）

- ・千葉県君津市へ施設に備蓄していた飲料水等を提供。(令和元年)
- ・法人内部で募金活動を行い、「千葉県災害対策本部」を通じて災害義援金を寄付。(令和元年)

[令和2年7月豪雨災害(熊本県等)]

- ・法人内部で募金活動を行い、「日本赤十字社」を通じて災害義援金を寄付。(令和2年)

[令和6年能登半島地震]

- ・法人内部で募金活動を行い、石川県の公式サイトを通じて災害義援金を寄付。(令和6年)

以上

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
生活困窮者のための入居施設の開設・運営管理および対象者の生活の安定や自立をサポートする種々の支援事業およびこれらを行う団体・組織・企業等を支援する事業	生活困窮者のための入居施設の開設・運営管理および対象者の生活の安定や自立をサポートする種々の支援事業およびこれらを行う団体・組織・企業等を支援する事業	令和5年9月1日～ 令和6年8月31日	東京都 神奈川県 埼玉県 千葉県 茨城県	56名	6,295名	1,024,179
福祉に関する相談援助事業	福祉に関する相談援助事業	令和5年9月1日～ 令和6年3月31日	千葉県 銚子市	3名	69名	8,814

令和5年度 活動計算書

令和5年9月1日から令和6年8月31日

特定非営利活動法人 エス・エス・エス

(単位:円)

科目		金額	
収入の部			
1	事業収入 生活困窮者のための入居施設の開設・運営管理および 対象者の生活の安定や自立をサポートする種々の支援事業 およびこれらを行う団体・組織・企業等を支援する事業収入	1,188,789,932	1,188,789,932
2	事業収入 福祉に関する相談援助事業に係る事業収入	12,711,600	12,711,600
3	その他の収入 受取利息 雑収入	10,847 33,374,873	33,385,720
当期収入合計(A)			1,234,887,252
支出の部			
1	事業費 生活困窮者のための入居施設の開設・運営管理および 対象者の生活の安定や自立をサポートする種々の支援事業 およびこれらを行う団体・組織・企業等を支援する事業費	1,024,179,360	1,024,179,360
2	事業費 福祉に関する相談援助事業に係る事業費	8,814,299	8,814,299
3	管理費 給与手当 福利厚生費 仲介手数料 退職給付費用 消耗品費 車両費 支払家賃 保険料 広告宣伝費 租税公課 減価償却費 旅費交通費 通信費 水道光熱費 支払手数料 会議費 運賃 新聞図書費 接待交際費 諸会費 保守管理費 研修費 賃借料 雑費 寄付金	9,443,244 2,091,608 1,755,600 2,585,560 1,468,727 1,747,202 7,173,250 1,361,526 2,551,284 27,745,395 47,261,861 9,321,168 1,193,677 617,745 33,803,310 4,294,882 9,480 80,938 5,371,205 1,381,453 6,606,040 600,000 962,586 3,798,725 200,000	173,426,466
4	その他の支出 支払利息割引料 雑損失	2,621,967 11,197,556	13,819,523
当期支出合計(B)			1,220,239,648
当期収支差額(A)-(B)			14,647,604
法人税等(C)			70,000
当期正味財産増加額(A)-(B)-(C)			14,577,604

令和5年度 貸借対照表

令和6年8月31日現在

特定非営利活動法人 エス・エス・エス

(単位:円)

科目		金額		
I	資産の部			
1	流動資産			
	現金・預金	177,542,729		
	未収入金	390,274,168		
	前渡金	696,954		
	前払費用	43,536,613		
	立替金	2,511,753		
	仮払金	30,558,154		
	退職給付引当資産	14,445,380		
	流動資産合計		659,565,751	
2	固定資産			
	建物	41,366,950		
	建物付属設備	241,154,790		
	車両運搬具	4,131,268		
	器具備品	284,900		
	一括償却資産	71,929		
	土地	260,314,436		
	ソフトウェア	497,232		
	電話加入権	40,000		
	長期前払費用	18,255,686		
	前払保険料	1,624,343		
	長期貸付金	20,000,000		
	保証金	42,127,635		
	敷金	94,903,960		
	リサイクル預託金	247,870		
	固定資産合計		725,020,999	
	資産合計			1,384,586,750
II	負債の部			
1	流動負債			
	未払費用	36,219,173		
	前受金	60,795,937		
	仮受金	842,938		
	未払消費税	16,030,700		
	未払法人税等	70,000		
	預り金	51,088		
	流動負債合計		114,009,836	
2	固定負債			
	長期借入金	304,865,000		
	災害引当金	94,000,000		
	大規模修繕引当金	49,600,000		
	退職給付引当金	14,445,380		
	預り敷金	90,196,800		
	預り保証金	5,000,000		
	固定負債合計		558,107,180	
	負債合計			672,117,016
III	正味財産の部			
	前期繰越正味財産		697,892,130	
	当期正味財産増加額		14,577,604	
	正味財産合計			712,469,734
	負債及び正味財産合計			1,384,586,750

令和5年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 エス・エス・エス

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、「中小企業会計指針」によって作成しております。

(1) 固定資産の減価償却方法（有形固定資産）

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については定額法を採用しております。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法の規定によっております。

(2) 消費税等の会計処理

税込方式を採用しております。

2. 事業別損益の状況

(単位：円)

科目	生活困窮者等 支援事業	相談援助 事業	事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						
1. 受取会費	0	0	0	0	0	
2. 受取寄附金	0	0	0	0	0	
3. 受取助成金等	0	0	0	0	0	
4. 事業収益	1,188,789,932	12,711,600	0	1,201,501,532	0	1,201,501,532
5. その他収益	0	0	0	0	33,385,720	33,385,720
経常収益計	1,188,789,932	12,711,600	0	1,201,501,532	33,385,720	1,234,887,252
II 経常費用						
(1) 人件費						
給料手当	322,731,725	7,003,650	0	329,735,375	9,443,244	339,178,619
退職給付費用	0	0	0	0	2,585,560	2,585,560
人件費計	322,731,725	7,003,650	0	329,735,375	12,028,804	341,764,179
(2) その他経費						
旅費交通費	0	19,020	0	19,020	9,321,168	9,340,188
水道光熱費	2,311,699	235,572	0	2,547,271	617,745	3,165,016
修繕費	393,030	0	0	393,030	0	393,030
消耗品費	888,082	85,051	0	973,133	1,468,727	2,441,860
支払手数料	0	550	0	550	33,803,310	33,803,860
租税公課	0	0	0	0	27,745,395	27,745,395
減価償却費	0	0	0	0	47,261,861	47,261,861
その他	697,854,824	1,470,456	0	699,325,280	55,068,979	754,394,259
その他経費計	701,447,635	1,810,649	0	703,258,284	175,287,185	878,545,469
経常費用計	1,024,179,360	8,814,299	0	1,032,993,659	187,315,989	1,220,309,648
当期経常増減額	164,610,572	3,897,301	0	168,507,873	△ 153,930,269	14,577,604

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位：円)

内容	金額	算定方法

4. 使途等が制約された寄附金等の内訳

該当はありません。

5. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

償却資産の種類	取得価額	期首帳簿価額	償却基礎金額	当期償却限度額			当期償却実施額	償却累計額	期末帳簿価額
				普通償却限度額	特別償却限度額	償却限度額合計			
11 建物	61,572,562	43,193,552	58,422,562	1,826,602	0	1,826,602	1,826,602	20,205,612	41,366,950
12 建物附属設備	595,079,397	266,067,469	393,251,694	37,357,448	0	37,357,448	37,357,448	353,840,376	241,154,790
16 車両及び運搬具	61,098,023	4,318,516	11,351,401	7,220,133	0	7,220,133	7,220,133	56,966,755	4,131,268
18 器具及び備品	833,080	30,960	437,960	153,058	0	153,058	153,058	548,178	284,900
01 一括償却資産	2,878,130	316,859	0	244,930	0	244,930	244,930	2,806,201	71,929
39 ソフトウェア	8,591,660	956,922	8,591,660	459,690	0	459,690	459,690	8,094,428	497,232
04 繰延資産（均等償却）	108,709,702	11,722,141	108,709,702	4,266,455	0	4,266,455	4,266,455	90,454,016	18,255,686
合 計	838,762,554	326,606,419	580,764,979	51,528,316	0	51,528,316	51,528,316	532,915,566	305,762,755

6. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	375,149,000	0	70,284,000	304,865,000
合計	375,149,000	0	70,284,000	304,865,000

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書) 給与手当	9,443,244	3,600,000
活動計算書計	9,443,244	3,600,000
(貸借対照表) 短期借入金		
貸借対照表計	0	0

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・ 事業費及管理費の按分方法

事業費及び管理費については、按分という概念はなく、事業に直接要する費用を事業費とし、事業の運営管理に要する費用を管理費として処理をしている。

令和5年度 財産目録

令和6年8月31日現在

特定非営利活動法人 エス・エス・エス

(単位：円)

科目		金額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金・預金				
現金 施設小口現金	10,482,738			
普通預金 みずほ銀行他	167,059,991			
未収入金	390,274,168			
前渡金	696,954			
前払費用	43,536,613			
立替金	2,511,753			
仮払金	30,558,154			
退職給付引当資産	14,445,380			
流動資産合計		659,565,751		
2 固定資産				
建物 東京都江戸川区他 固定資産台帳参照	41,366,950			
建物付属設備 内部造作他 固定資産台帳参照	241,154,790			
車両運搬具 車両 固定資産台帳参照	4,131,268			
器具備品 PC他 固定資産台帳参照	284,900			
一括償却資産	71,929			
土地 東京都江戸川区他 固定資産台帳参照	260,314,436			
ソフトウェア	497,232			
電話加入権	40,000			
長期前払費用	18,255,686			
前払保険料	1,624,343			
長期貸付金	20,000,000			
保証金	42,127,635			
敷金	94,903,960			
リサイクル預託金	247,870			
固定資産合計		725,020,999		
資産合計			1,384,586,750	
II 負債の部				
1 流動負債				
未払費用	36,219,173			
前受金	60,795,937			
仮受金	842,938			
未払消費税	16,030,700			
未払法人税等	70,000			
預り金	51,088			
流動負債合計		114,009,836		
2 固定負債				
長期借入金 みずほ銀行他	304,865,000			
災害損失引当金	94,000,000			
大規模修繕引当金	49,600,000			
退職給付引当金	14,445,380			
預り敷金	90,196,800			
預り保証金	5,000,000			
固定負債合計		558,107,180		
負債合計			672,117,016	
III 正味財産の部				
前期繰越正味財産		697,892,130		
当期正味財産増加額		14,577,604		
正味財産合計			712,469,734	
負債及び正味財産合計			1,384,586,750	

令和5年度 年間役員名簿

令和5年9月1日から 令和6年8月31日まで

特定非営利活動法人エス・エス・エス

役 名	氏 名		就任期間	報酬を受けた 期 間
理事長	菱田 貴大		令和5年9月1日 ～令和6年8月31日	令和5年9月 ～令和6年8月
理事	竹浦 史展		令和5年9月1日 ～令和6年8月31日	今年度報酬なし
理事	津波 和久		令和5年9月1日 ～令和6年8月31日	今年度報酬なし
理事	小川 正吾		令和5年9月1日 ～令和6年8月31日	今年度報酬なし
理事	菅原 洋介		令和5年9月1日 ～令和6年8月31日	今年度報酬なし
理事	田中 涼		令和5年9月1日 ～令和6年8月31日	今年度報酬なし
理事	中代 明夫		令和5年9月1日 ～令和6年8月31日	今年度報酬なし
理事	野宮 貴志		令和5年9月1日 ～令和6年8月31日	今年度報酬なし
監事	鳥海 敦美		令和5年9月1日 ～令和6年8月31日	今年度報酬なし

社員のうち10人以上の者の名簿

令和 6 年 8 月 3 1 日現在

特定非営利活動法人 エス・エス・エス

	氏 名	
1	竹浦 史展	
2	津波 和久	
3	野宮 貴志	
4	畦原 由智	
5	加藤 芳基	
6	佐藤 宏一	
7	西原 知也	
8	山田 達也	
9	佐藤 亮	
10	小寺 聡	